

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

2026 年 8 月 15 日

主にある皆様へ

日本聖公会首座主教 主教 ダビデ 上原 榮正
正義と平和委員会 委員長 主教 フランシス 長谷川 清純

8. 15 平和メッセージ

主の平和がありますように。

2026 年 8 月 15 日、日本は 81 回目の敗戦の日を迎える時、これほどまでに、世界中の人々が平和を祈願している時代はないと言えます。2022 年 2 月 24 日、ロシアのウクライナへの侵攻によって始まった戦争は 4 年以上も続き、2023 年 10 月 7 日、イスラエルによるガザから始まったジェノサイド（大量殺戮）が止まる所を知らず、2026 年 2 月 28 日、アメリカによるイランの核施設攻撃からペルシャ湾をめぐる戦争は終わりになき様相を呈し、全世界の国々の生活にも甚大な影響を与え続けています。

これらの戦争による死者、負傷者の数は到底正確に把握不可能ですが、ロシア・ウクライナ戦争の死者負傷者総数は 200 万人に上ると数えられています。ガザやヨルダン川西岸での虐殺と破壊、そして食糧不足による飢餓と衛生環境悪化により健康被害は阿鼻叫喚、人間の忍耐を超えた地獄です。人びとの苦痛の叫び、恨みの叫び、救いを求める必死の叫びが地球上に木霊しています。これら戦争犯罪を一刻も早く止めるようにと、私たちは当事者たちに抗議して訴え、その終結を希求し祈りましょう。

しかし沖縄、広島、長崎を経験し、今日の世界情勢を熟知していながら日本政府は、2015 年の安保関連法案を国会で強行可決してから、次々と戦争関連法案を提出、7 月には国旗損壊罪処罰法や皇室典範改正法案をごく短時間の審議で可決し、1945 年 8 月以前の時代に国を逆戻りさせています。今や、日本は「新たな戦前」となってしまいました。今強く問われるのは、平和への決断です。

日本聖公会は 1995 年の宣教協議会で、先の戦争において国家の戦争政策に加担するというまったく誤った行為を告白し、深く懺悔し、悔い改め・回心を表明しました。以来、日本聖公会は「わたしたちを平和の器にしてください」と祈ってきました。平和の創造のために国際社会に訴え、軍備を縮小し、核兵器を廃絶し、全原発と関連施設を廃炉にし、戦争を起こさせない神の正義を世に示すことこそが、宗教者の信念です。

戦争になり真っ先に被害を被るのは子ども、老人、女性など弱い立場の人たちなのは明らかです。希望の子である世界中の子どもたちに向けて、デズモンド・ツツ大主教とダグラス・タールトン・アダムスさんは、「かみさまのゆめ」（ドン・ボスコ社）というタイトルの絵本で平和のメッセージを送ってくれました。「かみさまの ゆめは なにか しっているかい？ さあ みんな、めをとじてこころのなかで おもいえがいてごらん」

イエス様は「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす」（ヨハネ 20：21）と、私たちに使命をお与えになられました。私たちは神様の夢を叶える器として、この破れ傷ついた世界に平和をもたらすために派遣された者たちです。主に愛されている者として神の正義と平和を祈り求め、共に歩んで参りたいと思います。 栄光在主＋